

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572208916		
法人名	有限会社エルアイズコーポレーション		
事業所名	グループホーム水沢の里		
所在地	八峰町峰浜水沢三ツ森カッチキ台3-1		
自己評価作成日	平成26年2月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1
訪問調査日	平成26年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設敷地内には畑やガーデニングあり利用者様が花壇の手入れや鉢植えの手入れを行ったり、夏野菜などを栽培して夕食に彩りを添えたり、育てる喜びや収穫の喜び、食べる(食べれる)喜びを共有し合ったり、職員や利用者様、近隣住民との交流(井戸端会議)の場とし、ふれ合いを大切にしている他、歌や演芸のボランティアやNPO等の協力をいただき、様々なイベントを催し近隣住民との協力や市町村との連携、利用者様、ご家族様、地域住民とのふれ合いに力を入れている。利用者の希望や要望の早期実現、問題の早期解決をするうえで、利用者様ご本人とキーパーソン(ご家族様)臨席の話し合いの場を設け、お互いに納得し合ってより良い環境を創設できるように全面的な協力をして絆を大切に共に寄り添うケアに全力を注いでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者地域との関わりを大切にしながら、地域に根差した運営をされています。利用者の気持ちを尊重し、生活を支援するために、代表者始め管理者、職員が意見を出し合ってケアの向上に取り組み、理念の実現に向けて努力されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で共有し明るくて楽しく笑顔の多い環境作りを心がけ、ふれ合いや絆を大切に支援助に努めている。	自分達が住みたいと思えるホームを目指して策定された理念の実現に向けて、地域との関わりを大切にしながら実践に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進委員会を利用し季節ごとの行事等を町内会長や老人クラブ代表を通じてお知らせし協力、連携し合い付き合いを密にしている他、町の広報を参考にして利用者様と一緒に交流できるよう支援に努めている。	町内の行事には積極的に参加し、ホームの行事にも招待して地域の一員として交流されています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	ホーム行事を企画した時やボランティアが来訪する際はチラシを配布して参加を呼びかけ、ふれ合いの時間を大切に認知症高齢者や若年認知症者に対する理解(特異でない普通人)を深めていただけるよう心がけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町民生活課の職員や町内会長、老人クラブ代表者を通じた行事の立案、連携協力、機器の借用の手配等を行い「楽しくて温かい、ふれ合いの場」をサービス出来るように活かしている。	ホームの行事や状況報告を行い、設定した議題について意見交換され、参加者からの意見や提案が運営に活かされています。	定期的開催されていますが、議事録は簡単な記録になっています。会議内容が誰にでもわかるように記載されることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	季節ごとのウイルス等の感染状況の把握、対応、注意情報を収集し素早い対応を心掛けケアサービスに活用している。	入退居の手続き、困難事例の相談等、行政や包括と連携を密にし、利用者の支援に繋がっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	自分がされて嫌なことを人にはしないことを前提に利用者の気持ちを理解したケアを心がけ支援に努めている。情報収集に関してはインターネットを活用して職員会議の折に参考にし職員全員で共有し合いケアの実践に取り組んでいる。	ホールに標語を掲示し、情報を収集して会議等で確認し、拘束のないケアに取り組まれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	専門誌や関連テキストを基にして知識を学び職員同士の話し合いを通して事例を出し合い事前予防と防止の徹底を心がけ支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	インターネットを利用して情報を収集し職員で共有し学びを深めている他、虐待の防止と合わせ支援に活かしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様の家に訪問して事業所詳細を説明し家族の理解を得て利用者様本人、家族様の意思を尊重している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様や家族様との雑談を中心に心配事や悩み事を伺い早期解決、早期実現に向けて申し送りして話し合い、職員一丸となり反映出来るように心掛けている。	面会時や必要に応じて関係者を訪問し、状況を報告して意見を聞き、利用者、家族の声を前向きに捉えて介護計画、運営に反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やカンファレンスなどに代表者も参加し、職員の意見を聞きながら業務の改善に努めている他、休憩時間を利用し職員と和み雑談をしながら意見や提案を汲み取り早急な対応を心掛けている。	代表者が日頃から職員の中に溶け込み、職員の意見やアイデアを取り入れて運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の生活プランを重視し子育てや家族の介護と仕事の両立ができるような勤務体制を心がけている。給与水準に関しては、技術力や知識、資格等を考慮に入れ個人の努力に応じている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務年数に合った社外研修を受ける機会を設け希望する研修などがあれば、会社にて負担して本人負担の少ない形で受講できるよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修や交流会への参加を各職員へ促している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様本人のありのままを受け入れ、寄り添い、共に歩んでいく姿勢を貫き信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望や希望に随時耳を傾け必要に応じて訪問し迅速な対応に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の育った環境、知識・経験等を活かした軽作業を職員や他利用者様と共に行い共感し喜びや楽しみを共有できるように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況変化を速やかに報告・連絡を行い、家族様の意見を尊重し共に寄り添い歩む関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の意思を尊重し、かかりつけの病院や馴染みの温泉施設、理髪店、お墓参り等の外出支援を希望に応じて引き続き継続している。	利用者の希望を大切にし、家族の協力を得ながら、これまでの関わりが途切れないように支援されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気兼ねなく談笑し男女の分け隔てなく共に過ごす家族のような自然な付き合いができるようなきっかけを作る支援を心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご縁を大切に退居された利用者様や家族様との絆を断ち切る事なく変わらぬ支援を心掛け、相談事に対しては迅速に対応しより良い生活環境の創設に向け協力できるよう心がけている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	和やかな雰囲気づくりを心掛け、実直にありのままを受け入れ何気ない会話を通じて悩み事や心配事を仕草や表情、癖からくみ取り把握するよう心掛けている。	日々の会話や様子から意向を把握して記録に残し、希望に沿った支援ができるように、申し送りを通じて共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報を中心に関係医療機関や専属のケアマネージャーとの情報交換や面会にいられた親族の方へ訪ね情報を収集しているが語りにくいことに関しては深く詮索しないよう心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りを中心にケース記録やそのほかの記録を参考に日々の状態・状況を把握している。職員の気づきを大切に事前策を講じられるよう心がけている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の気づきや新しい発見、アイデアあればメモを取り情報を共有し、職員会議やカンファレンスで出し介護計画に役立てられるよう心掛けている。	利用者、家族の意向を踏まえて職員全員で意見を出し合い、現状に即した介護計画を作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の変化や気づいた点を記録し、申し送りの時に個々の状況・状態を話し合い再確認し最新のデータを基に分析、ケアの変更・追加を柔軟に行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行き付けのスーパーへの買い物を中心に温泉施設の利用や町の行事への参加を増やしているよう心がけている。		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望や要望を尊重し、かかり付けの病院や薬局を継続利用している。	利用者それぞれのかかりつけ医で継続して受診されており、協力医、歯科医と連携しながら医療支援されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康管理については、受診時に主治医と相談して対応している他、看護師の協力をいただき健康管理のポイントやアドバイスをいただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に面会をし病院関係者と話し合いを通して信頼関係を築いている他、退院後も状況を密に報告し連携を取り、主治医より適切なアドバイスを頂いて対応にあたっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	できる限りホームで対応していくという方針で支援に努めていますが重度化した場合は、必ず家族から希望を聞き意思を尊重し、主治医や看護師と連携してのターミナルケアを行っています。	可能な限り希望に沿えるよう体制を整え、関係者と連携しながら終末期のケアに取り組まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルやインターネットを利用し基礎知識と最新の技術を学び実践に活かしている。マスク、グローブ、ビニールエプロンを常備し状況に応じて迅速に対応している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回、夜間の火災を想定して行い消防署職員よりアドバイスをいただき知識と技術を学んでいる他、運営推進委員会を通して近隣住民や役場に協力をお願いし防災時の体制を整えるよう努めている。	運営推進会議で避難方法を話し合っ訓練に活かす等、協力を得ながら災害に備えています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一般常識を基に言葉使いや言動に注意し利用者様と接するよう職員一同心掛けています。	利用者の気持ちを尊重し、理念を意識した対応ができるように心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションの時間を多く取れるよう心がけ希望を可能な限り実現できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様個人の生活リズムを把握し一人ひとりに合った生活を自然に送れるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	意思表示がうまく出来ない方については、職員が表情や仕草を注意深く観察し利用者様の思いを大切に支援を心掛けている。理美容院に定期的に行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様個人の身体能力を可能な限り活用し、男女の関係なく料理や後片付けをできる範囲内で協力してもらえよう促し、共同生活をしていただけるよう心掛けている。	畑で収穫した野菜や地域で馴染みの旬の食材を献立に取り入れ、食事が楽しめるように配慮されています。機能に応じて準備から後片付けまで職員と一緒にいき、利用者の残存能力を活かす取り組みが行なわれています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し、栄養・水分量の把握に努めている他、飲みたい物を飲めるよう工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアに関しては会社でも特に力を入れており、訪問歯科を導入している。また歯科医と相談し個別にアドバイスを頂いて義歯の手入れや消毒のポイントを伺い支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄リズムを記録し把握、可能な限りトイレで排泄しなるべくオムツに頼らない支援を心がけ必要に応じてパットを使い分け対応している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄用品を状況によって使い分け、トイレで排泄できるよう支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘によって精神的に不安定になる方もいるので、便秘にならないように軽い運動をしたり、繊維の多い食品や乳製品を多く取り入れるように気をつけ、調理や水分補給の工夫を行い支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望や体調に合わせてゆっくり入浴を楽しんで頂いている。	週2回は入浴できるように支援されており、状況や希望に応じて対応されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣の把握に努め日中、レクリエーションなどで体を動かし体調に合わせて安眠できるよう休息も取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局で発行している処方薬の説明書を、いつでもスタッフが閲覧できるようにファイルし、薬の効用や副作用の把握に努めている他、薬が変わった場合や変更時には注意深く様子を観察し詳細を主治医に伝えるよう心がけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設敷地内にガーデニングや畑を作り花壇や鉢植えの設置、夏野菜を栽培し食卓に彩りを添え食する喜びや収穫を楽しめるよう心がけている他、食事の準備、調理、盛り付けなどで役割分担し張り合いのある支援を心がけている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	月に数回、又は本人の希望や要望を伺い理髪店を利用したり、行きつけの商店やスーパーでの買い物、馴染みの温泉施設での気分転換など、いつでも外出できるような支援を心がけている。	温泉や買物、地域の行事等、利用者の希望や季節に応じて外出できる機会を積極的につくっている他、畑での作業も取り入れ、戸外に出られるよう支援されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い程度のお金を財布と一緒に所持してもらい買い物希望があれば、随時対応し外出している他、お小遣い帳も活用し支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、いつでも電話をかけたり手紙を出せるようにし絆を大切にしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音や番組など好みもある為、職員が利用者様とコミュニケーションを取り状況に合わせて調節し配慮している。	トイレ前、洗面所、玄関ホールに椅子を置き、天窓から明かりを採り入れて、過ごしやすさに配慮した明るい共用スペースとなっています。また、様式と和式のトイレを設置し、利用者の生活習慣にも配慮されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	施設敷地内に椅子、テーブルを設置しガーデニングなど自由楽しめる癒しの空間を大切にしている他、玄関に長椅子を設置し居場所づくりに努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内のものは、できるだけ使い慣れた物を持参していただき使い慣れた室内を復元できるように配慮している。	家族の写真を飾り、使い慣れたものを持ち込んで、居心地良く過ごせる環境づくりをされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所を指し示す表記に関しては馴染みある言葉を使用し可能な限り自立した生活を送れるように心がけている他、毎日食後の食器やおぼん、おしぼりなどの片づけを可能な限り行えるよう安全に配慮している。		